



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 トランコム株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 9058 URL <http://www.trancom.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 恒川 穰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートサービスグループ担当 (氏名) 川村 晋一 TEL (052)939-2011

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	34,392	8.6	1,227	△8.3	1,207	△7.0	608	△58.0
29年3月期第1四半期	31,660	2.9	1,338	4.1	1,298	1.9	1,449	125.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 568百万円 (△58.0%) 29年3月期第1四半期 1,353百万円 (107.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	62.72	62.55
29年3月期第1四半期	149.31	148.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	44,348	27,785	62.0	2,831.80
29年3月期	44,700	27,591	61.1	2,811.75

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 27,498百万円 29年3月期 27,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	39.00	-	39.00	78.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	40.00	-	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,740	4.8	2,390	△2.8	2,350	△1.0	1,530	△27.4	157.58
通期	139,680	4.8	6,020	6.0	5,930	7.0	3,890	4.9	400.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	10,324,150株	29年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	613,564株	29年3月期	614,564株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	9,709,961株	29年3月期1Q	9,707,528株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」及び取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を控除しております。なお、平成29年6月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する自己株式はそれぞれ28,400株及び10,800株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

物流業界では、EC市場の拡大による消費者の購買スタイルの変化に伴い、貨物の小口化、多頻度化が進み、輸配送ニーズが多様化するなど、物流構造が大きく変化してきております。そのような中で、一層深刻化するトラックドライバー不足、庫内作業員の人件費の上昇など、大きな社会問題に直面し、物流事業者にとっては大変厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当期におきましては、トランコムグループ中期経営計画「TRANCOM VISION 2020」に掲げる「人材・組織の強化」、「パートナー企業との関係構築」、「ICTの積極活用」の3つを成長の軸とし、コア事業がそれぞれ質の高い機能を果たし、その競争力のある事業が有機的に結合することで、高いシナジーを創出する企業グループへと進化するべく、取り組みを推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高34,392百万円（前年同期比 8.6%増）、営業利益1,227百万円（同 8.3%減）、経常利益1,207百万円（同 7.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益608百万円（同 58.0%減）となりました。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	11,641	11,598	△42	△0.4
セグメント利益（営業利益）	700	676	△23	△3.4

売上高は、新規業務の稼働及び既存拠点の物量増加に伴う増収要因はあったものの、前期において一部既存拠点で業務縮小した影響により、減収となりました。

営業利益は、前期に稼働した拠点の収益化による増益要因はあったものの、当期4月に稼働した拠点の初期費用の計上、一部既存拠点の生産性悪化により、減益となりました。

② 物流情報サービス事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	17,372	19,149	1,776	10.2
セグメント利益（営業利益）	592	721	128	21.7

アジャスターの営業力を結束した貨物情報取得に加え、分析ツールを駆使したアプローチなどにより、チャーター部門・中ロット部門ともに、成約件数は順調に推移しました。また、人員の増強を図り、更なる事業成長に向けた取り組みを推進しました。これらの結果、増収増益となりました。

③ インダストリアルサポート事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	1,967	2,093	125	6.4
セグメント利益（営業利益）	27	23	△3	△13.6

売上高は、国内派遣部門の新規顧客獲得や既存顧客における派遣社員の大幅増員などにより、増収となりました。

営業利益は、海外拠点での業務撤退の影響などにより、減益となりました。

④ その他

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	1,031	1,927	896	86.9
セグメント利益又は損失 (営業利益又は損失)	49	△150	△200	—

その他事業につきましては、Transfreight China Logistics Ltd.の連結子会社化に加え、タイでの物流業務稼働により、売上高は大幅に増収しましたが、タイでの物流業務の初期費用が想定以上にかかり、営業損失となりました。

(注) 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較情報は次のとおりであります。

① 資産

流動資産は、受取手形及び売掛金が295百万円減少したことなどにより、134百万円減少し29,739百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産が39百万円増加した一方、減価償却などにより、有形固定資産が113百万円、無形固定資産が143百万円、それぞれ減少したことにより、218百万円減少し14,609百万円となりました。これらにより資産合計は、352百万円減少し44,348百万円となりました。

② 負債

流動負債は、夏季賞与支払いに備えて未払費用が865百万円増加した一方、買掛金が542百万円、未払法人税等が595百万円、それぞれ減少したことなどにより、512百万円減少し13,717百万円となりました。

固定負債は、リース債務が17百万円減少したことなどにより、33百万円減少し2,845百万円となりました。これらにより負債合計は、546百万円減少し16,563百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が228百万円増加したことなどにより、193百万円増加し27,785百万円となり、自己資本比率は62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月27日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,249	8,241
受取手形及び売掛金	20,762	20,467
商品	13	12
仕掛品	1	0
貯蔵品	16	16
前払費用	456	550
繰延税金資産	211	92
その他	165	361
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	29,873	29,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,483	7,447
減価償却累計額	△3,983	△4,016
建物及び構築物 (純額)	3,500	3,431
機械装置及び運搬具	4,328	4,299
減価償却累計額	△3,171	△3,161
機械装置及び運搬具 (純額)	1,156	1,138
土地	2,701	2,701
リース資産	2,381	2,362
減価償却累計額	△1,215	△1,210
リース資産 (純額)	1,166	1,151
建設仮勘定	-	6
その他	1,000	955
減価償却累計額	△665	△639
その他 (純額)	334	316
有形固定資産合計	8,859	8,745
無形固定資産		
のれん	617	557
リース資産	11	2
ソフトウェア	1,472	1,437
ソフトウェア仮勘定	175	167
顧客関連資産	605	572
その他	172	171
無形固定資産合計	3,053	2,910
投資その他の資産		
投資有価証券	1,131	1,157
繰延税金資産	452	481
差入保証金	1,182	1,166
その他	169	169
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	2,914	2,953
固定資産合計	14,827	14,609
資産合計	44,700	44,348

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,042	9,500
リース債務	227	222
未払金	302	246
未払費用	1,406	2,271
未払法人税等	864	269
未払消費税等	574	614
賞与引当金	501	162
役員賞与引当金	16	8
その他	293	421
流動負債合計	14,230	13,717
固定負債		
リース債務	1,279	1,261
再評価に係る繰延税金負債	11	11
株式給付引当金	133	142
役員株式給付引当金	67	67
厚生年金基金解散損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	113	108
資産除去債務	439	432
その他	524	512
固定負債合計	2,879	2,845
負債合計	17,109	16,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,291	1,293
利益剰余金	25,914	26,142
自己株式	△1,015	△1,013
株主資本合計	27,269	27,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	91
土地再評価差額金	26	26
為替換算調整勘定	△82	△137
退職給付に係る調整累計額	15	15
その他の包括利益累計額合計	31	△4
新株予約権	111	111
非支配株主持分	178	174
純資産合計	27,591	27,785
負債純資産合計	44,700	44,348

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	31,660	34,392
売上原価	29,700	32,519
売上総利益	1,959	1,873
販売費及び一般管理費	621	645
営業利益	1,338	1,227
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	6
持分法による投資利益	4	—
その他	5	9
営業外収益合計	17	16
営業外費用		
支払利息	29	27
持分法による投資損失	—	2
寄付金	20	—
その他	6	5
営業外費用合計	56	35
経常利益	1,298	1,207
特別利益		
固定資産売却益	4	3
段階取得に係る差益	595	—
その他	6	—
特別利益合計	606	3
特別損失		
固定資産廃棄損	3	26
支払補償費	—	70
その他	0	0
特別損失合計	3	97
税金等調整前四半期純利益	1,901	1,113
法人税、住民税及び事業税	254	409
法人税等調整額	187	95
法人税等合計	442	505
四半期純利益	1,459	608
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,449	608
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	19
為替換算調整勘定	△86	△60
退職給付に係る調整額	△1	△0
その他の包括利益合計	△105	△40
四半期包括利益	1,353	568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,352	573
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジス テイクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダ ストリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,639	17,350	1,864	30,854	805	31,660	—	31,660
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	21	103	126	225	352	△352	—
計	11,641	17,372	1,967	30,981	1,031	32,012	△352	31,660
セグメント利益	700	592	27	1,320	49	1,370	△31	1,338

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△31百万円には、セグメント間取引消去0百万円、のれんの償却額△32百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

Transfreight China Logistics Ltd.の出資持分を追加取得し、連結子会社としております。

これに伴い当第1四半期連結累計期間においては、全社資産としてのれんが1,202百万円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジス テイクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダ ストリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,598	19,127	1,955	32,681	1,711	34,392	—	34,392
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	22	137	159	216	376	△376	—
計	11,598	19,149	2,093	32,841	1,927	34,768	△376	34,392
セグメント利益又は損失	676	721	23	1,421	△150	1,271	△43	1,227

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外物流事業及び情報システム開発事業等により構成しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△43百万円には、セグメント間取引消去1百万円、のれんの償却額△45百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。